



## 平成31年2月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年10月15日

上場会社名 株式会社 マルヨシセンター

上場取引所 東

コード番号 7515 URL <http://ww2.maruyoshi-center.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐竹 克彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 小笠原 将仁

TEL 087-874-5511

四半期報告書提出予定日 平成30年10月15日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成31年2月期第2四半期の連結業績(平成30年3月1日～平成30年8月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年2月期第2四半期	20,271	1.2	59	2.5	30	243.2	265	
30年2月期第2四半期	20,521	2.9	57	78.9	8	95.5	181	

(注) 包括利益 31年2月期第2四半期 260百万円 ( %) 30年2月期第2四半期 194百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年2月期第2四半期	353.17	
30年2月期第2四半期	240.73	

平成30年9月1日を効力発生日として普通株式10株を1株とする株式併合を実施したため、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年2月期第2四半期	17,724	1,717	9.0
30年2月期	17,222	2,000	10.9

(参考) 自己資本 31年2月期第2四半期 1,588百万円 30年2月期 1,879百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年2月期		0.00		3.00	3.00
31年2月期		0.00			
31年2月期(予想)				30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

平成31年2月期(予想)の1株当たり期末配当金には株式併合の影響を考慮した金額を記載しています。株式併合を考慮しない場合の平成31年2月期(予想)の1株当たり期末配当金は3円で、1株当たり年間配当金は3円となります。

### 3. 平成31年2月期の連結業績予想(平成30年3月1日～平成31年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,500	0.1	250	35.4	200	34.3	170		225.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

平成31年2月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益には株式併合の影響を考慮しています。株式併合の影響を除いた平成31年2月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益は 22.60円となります。

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年2月期2Q	874,999 株	30年2月期	874,999 株
期末自己株式数	31年2月期2Q	122,635 株	30年2月期	122,635 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年2月期2Q	752,364 株	30年2月期2Q	752,364 株

(注) 前連結会計年度の期首に株式併合が行われたと仮定して、期末発行済株式数、期末自己株式数および期中平均株式数を算定しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成30年3月1日～平成30年8月31日）におけるわが国経済は、景気は緩やかな回復基調が続いておりますが、一方、実質賃金の伸び悩み、社会保険料等の負担増加などにより個人消費に力強さ、勢いのない状況が続いており、また、米中貿易摩擦問題の懸念や東アジア地域の地政学的リスクの高まり等により、依然として先行き不透明な状況が継続しております。

小売業界におきましては、競合他社の出店や価格競争が一層激化しているとともに、労働需要の逼迫に加え人件費関連コストは増加傾向にあります。さらに、生活防衛意識の高まりにより、日々の買物での低価格志向は継続しており、業界を取り巻く環境は引き続き厳しさを増しております。

このような状況のもと、当社は、経営理念である「健康とおいしさ」のキーワードに「美容」を加え、食と美をテーマとした当社独自の商品を開発するとともに、旬の素材を使ったお弁当・惣菜類の展開を更に強化し、料理提案など魅力ある提案型の売場作りに取り組んでおります。一方で、節約志向に対し戦略的な営業施策として「家計応援」企画（エブリデーロープライス）を強化するとともに、商圏内のシェア拡大を図っております。また、当社商圏内への競合店出店が相次ぎ、業績への影響が拡大していることから、効率化を目的とした企業体質の改善に着手いたしております。縮小する商圏や異業種間の競争に対応するため、店舗規模の縮小化を図り、地域や店舗の特性に合った商品を選択し集中的に品揃えすることで、競合他社との更なる差別化を進めており、新しいモデル店舗（グランデリーズ）を確立すべく、平成30年4月に2号店となるグランデリーズ飯山店（香川県丸亀市）を出店いたしました。

このような取り組みの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は196億7百万円（前年同期比1.3%減）、営業利益は59百万円（前年同期比2.5%増）、経常利益は30百万円（前年同期比243.2%増）となりました。また減損損失3億39百万円の計上等により親会社株主に帰属する四半期純損失は2億65百万円（前年同期は1億81百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

流動資産は、現金及び預金が1億49百万円増加したことなどにより、前期末に比べ2億36百万円増加し、31億59百万円となりました。

有形固定資産は、前期末に比べ1億63百万円増加の121億63百万円、無形固定資産は、前期末に比べ36百万円増加の5億8百万円となりました。

投資その他の資産は、繰延税金資産が87百万円増加した一方で、投資有価証券14百万円、差入保証金11百万円の減少により、前期末に比べ61百万円増加の18億88百万円となりました。

繰延資産は、前期末に比べ2百万円増加し、4百万円となりました。

## (負債)

負債は、前期末に比べ7億84百万円増加し、160億7百万円となりました。その主な内訳は、長期、短期を合わせた借入金が1億52百万円減少した一方で、買掛金が6億26百万円、社債が2億32百万円増加したことなどによるものであります。

## (純資産)

純資産は、利益剰余金が2億88百万円、その他有価証券評価差額金が4百万円減少したことなどにより、前期末に比べ2億83百万円減少し、17億17百万円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績見通しにつきましては、平成30年4月16日発表時の予想を変更しております。詳細は、本日公表いたしました「業績予想の修正及び特別損失の計上に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- （1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
- （2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
- （3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,183,181	1,332,372
売掛金	145,916	171,093
商品	1,338,554	1,337,087
繰延税金資産	105,941	116,036
その他	148,823	202,812
流動資産合計	2,922,417	3,159,402
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	16,873,216	17,258,972
減価償却累計額	△12,580,316	△12,684,931
建物及び構築物（純額）	4,292,900	4,574,041
機械装置及び運搬具	2,138,518	2,132,446
減価償却累計額	△1,775,835	△1,762,642
機械装置及び運搬具（純額）	362,682	369,803
工具、器具及び備品	2,687,020	2,773,282
減価償却累計額	△2,382,921	△2,378,595
工具、器具及び備品（純額）	304,099	394,687
土地	6,741,401	6,738,569
リース資産	356,111	246,568
減価償却累計額	△289,114	△164,537
リース資産（純額）	66,996	82,030
建設仮勘定	232,231	4,663
有形固定資産合計	12,000,312	12,163,796
無形固定資産	471,998	508,051
投資その他の資産		
投資有価証券	449,437	435,002
繰延税金資産	534,197	622,044
差入保証金	812,461	800,713
その他	59,670	59,590
貸倒引当金	△29,300	△29,000
投資その他の資産合計	1,826,466	1,888,350
固定資産合計	14,298,776	14,560,199
繰延資産		
社債発行費	1,732	4,694
繰延資産合計	1,732	4,694
資産合計	17,222,925	17,724,296

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成30年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年8月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,297,877	2,924,112
短期借入金	1,300,002	600,000
1年内償還予定の社債	130,000	128,000
1年内返済予定の長期借入金	2,674,587	2,496,579
未払法人税等	96,725	55,894
賞与引当金	118,935	120,200
ポイント引当金	31,594	31,828
その他	860,175	939,844
流動負債合計	7,509,896	7,296,458
固定負債		
社債	154,000	388,000
長期借入金	6,203,968	6,929,211
退職給付に係る負債	1,085,190	1,083,413
役員退職慰労引当金	74,600	60,489
資産除去債務	93,950	111,725
その他	100,620	137,796
固定負債合計	7,712,329	8,710,636
負債合計	15,222,225	16,007,095
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,077,998	1,077,998
資本剰余金	813,528	813,528
利益剰余金	513,396	224,918
自己株式	△514,482	△514,482
株主資本合計	1,890,440	1,601,962
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△4,057	△8,202
退職給付に係る調整累計額	△7,294	△5,170
その他の包括利益累計額合計	△11,352	△13,373
非支配株主持分	121,611	128,612
純資産合計	2,000,700	1,717,201
負債純資産合計	17,222,925	17,724,296

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年8月31日)
売上高	19,858,206	19,607,318
売上原価	15,185,294	14,852,134
売上総利益	4,672,911	4,755,183
営業収入	663,384	664,287
営業総利益	5,336,295	5,419,471
販売費及び一般管理費		
販売促進費	406,504	419,974
消耗品費	145,141	183,459
運賃	322,895	304,659
賃借料	13,006	12,062
地代家賃	394,324	391,348
修繕維持費	214,297	228,663
給料手当及び賞与	2,250,514	2,299,547
福利厚生費	303,637	312,068
賞与引当金繰入額	105,671	106,439
退職給付費用	49,505	47,820
役員退職慰労引当金繰入額	4,990	4,189
水道光熱費	461,732	460,717
減価償却費	271,961	271,953
その他	334,480	317,473
販売費及び一般管理費合計	5,278,663	5,360,376
営業利益	57,632	59,094
営業外収益		
受取利息	103	157
受取配当金	3,918	4,296
受取手数料	3,322	3,167
保険配当金	-	3,714
リサイクル材売却益	2,819	7,502
その他	5,861	5,468
営業外収益合計	16,025	24,305
営業外費用		
支払利息	61,185	49,635
その他	3,609	3,344
営業外費用合計	64,795	52,979
経常利益	8,863	30,420
特別利益		
固定資産売却益	2,106	-
資産除去債務戻入益	1,654	-
特別利益合計	3,760	-

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 平成29年3月1日 至 平成29年8月31日）	当第2四半期連結累計期間 （自 平成30年3月1日 至 平成30年8月31日）
特別損失		
固定資産除却損	778	13,221
減損損失	184,537	339,494
店舗閉鎖損失	1,408	-
関係会社株式評価損	-	10,320
特別損失合計	186,724	363,035
税金等調整前四半期純損失（△）	△174,101	△332,615
法人税、住民税及び事業税	26,643	23,196
法人税等調整額	△29,086	△97,071
法人税等合計	△2,443	△73,874
四半期純損失（△）	△171,657	△258,740
非支配株主に帰属する四半期純利益	9,458	6,969
親会社株主に帰属する四半期純損失（△）	△181,116	△265,710

（四半期連結包括利益計算書）  
（第2四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自平成29年3月1日 至平成29年8月31日）	当第2四半期連結累計期間 （自平成30年3月1日 至平成30年8月31日）
四半期純損失（△）	△171,657	△258,740
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△25,221	△4,144
退職給付に係る調整額	2,788	2,123
その他の包括利益合計	△22,432	△2,020
四半期包括利益	△194,090	△260,761
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△203,433	△267,762
非支配株主に係る四半期包括利益	9,343	7,001

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。